

## 新発田市 令和元年度 第4回定例記者会見

- 1 日 時 令和元年7月2日(火)午前11時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた501会議室
- 3 内 容

- 藤塚浜海水浴場 海開き安全祈願祭  
紫雲寺地区小・中学校「ヒラメ給食」の提供
- 市民文化会館シネマ上映会
- 日米中学生バスケットボール親善試合 in 新発田  
地域おこし協力隊 OG がカフェ「あかたにヒュッゲ」をオープン  
「新潟県地域づくりサポートチーム」の支援対象に菅谷地区が決定  
五十公野コミュニティセンターPRポスターを地元中学生が制作  
イクネスしばた3周年祭・風鈴祭り、七夕駅前マルシェ  
イクネスしばたこどもセンター子育て講座「おやこキッチン」  
サマーフェスティバル2019  
日韓親善スポーツ交流大会  
義士祭安兵衛決定戦  
「令和元年最大級の Meets♥フェスティバル with おばたのお兄さん」  
くまリアンリターンズ IN しばた  
「食のアスpara横丁、味めぐり」スタンプラリー抽選会  
歴史図書館夏季企画展「10代藩主 直諒の夢」  
新発田市美術展覧会(市展)出品作品募集  
介護予防講演会  
新発田出身アーティストセレクション VOL.10 うたびと・ジョイントコンサート  
第40回記念「合唱のつどい」  
渡辺真知子コンサート2019

### あいさつ

6月18日に山形県沖地震がありました。新発田市は「震度4」ということで、揺れはしましたがけれども、大きな被害はありませんでした。

当市は海をもっていますので、津波注意報が発令されたことで、藤塚小学校を含む5か所の自主避難所を開設し、5施設合計で21の方が避難をされました。人的な被害もなかったことは、本当に良かったと思っています。

また、今のところ、月岡温泉において、大きな影響を受けて風評被害が大変だという声は聞いていないそうです。

それから、ご心配いただいた小・中学校の子どもたちのための、エアコン設置の関係についてです。新聞記事などでも、夏に間に合う自治体、間に合わない自治体など、報道されていました。

お陰様で当市では、学校の都合で夏休み期間を利用して設置せざるを得ない1校を除いて、97.1%の教室にエアコンの設置ができる状況です。子どもたちも、快適な空間で勉強ができるのではないかと考えています。

それでは、会見項目を説明いたします。

**最初に、「藤塚浜海水浴場 海開き安全祈願祭」および「紫雲寺地区の小・中学校における、ヒラメを使った給食の提供」について**

間もなく、本格的な海水浴シーズンを迎えます。今年も、藤塚浜海水浴場を開設するにあたり、期間中の無事故を祈願するため、安全祈願祭を行います。

地元の子どもたちによる「樽みこし」、あるいは、藤塚小学校で40年にわたり、先輩から後輩へと受け継がれてきた「藤塚浜大漁太鼓」などのアトラクションのほか、同校児童による「ヒラメの稚魚の放流」が行われます。

ヒラメの稚魚を海に放流する取組は、これまでも、新潟漁業協同組合北蒲原支所のお声掛けにより、藤塚小学校の子どもたちが参加するかたちで行われてきました。

今年は、年に1度の海開きの催しをさらに盛り上げるため、同会場で稚魚の放流を行うこととしたと聞いています。

加えて、同日には、地元の松塚漁港で水揚げされた「ヒラメ」を使用した学校給食が紫雲寺地区の小・中学校4校で提供されます。

以前、先輩たちによって放たれたヒラメの稚魚が海で大きく成長し、この度の給食の食材として使われているかもしれません。

当市では、食は巡り巡って再び自分たちに還るという「食の循環」の考え方をもとに、学校での食育活動に取り組んでいます。

食の循環の取組を子どもたちが直接体感することのできる、良い機会になるのではないかと考えています。

また、今年から海開きの期間中は、地元の浜茶屋の方と連携し、海水浴場の監視を務めていただくほか、この方が緊急時に適切な対応ができるようにと、「赤十字水上安全法 救助員」の資格を取得され、安全・安心な海水浴場とするために、一役買っていただくことになったと聞いています。

藤塚浜エリアには、海水浴場のほか、オートキャンプ場、温泉施設、スポーツ施設など、たくさんのレジャー施設がそろっています。市内はもとより、市外からも多くの方にお越しいただき、存分に楽しんでいただきたいと思います。

## 次に、「市民文化会館シネマ上映会」について

9月8日(日)に、市民文化会館を会場として、2018年に話題作となった映画の上映会を行います。

これまで、市民の方から「映画館などの娯楽施設を誘致してほしい」や、「新潟市に行かなくても、市内で賞をもらったような映画を見たい」といった要望をいただくことがありました。

この要望に応えるため、また、芸術文化の振興の観点から、市民文化会館の大スクリーンを活用し、市内で映画館にいるような気分を味わっていただくとうと、企画したものです。

上映する映画は、国内で高い評価を得た「万引き家族」と「ボヘミアンラプソディ」の2作品です。

また、各作品の上映前には、当市ゆかりの若者たちで構成する「首都圏しばたサポーターズクラブ」のメンバーが自主制作した、新発田市PRムービーも上映します。

新発田市のPRムービーは、年度内に第2弾を制作予定だそうで、市民の皆さんへの出演者の募集も兼ねています。若い人たちの想いに対し、ぜひ一人でも多くの皆さんにご協力してほしいと考えています。

シネマ上映会のチケット販売は、7月10日（水）から開始します。鑑賞料金も通常の映画館に比べて、大変お得になっているとのことです。

市内はもとより、市外からも、ぜひ多くの方々にご来場いただけるよう、今日お集まりの記者の皆さんからも、周知についてご協力をいただきたいと思います。

## 次に、「日米中学生バスケットボール親善試合 in 新発田」について

7月26日（金）～31日（水）の日程で、日米中学生のバスケットボールを通じた、交流事業が行われます。

この交流事業は、これまでに国内では、福岡県や島根県などで開催され、今回で26回目になりますが、新潟県内を会場として開催するのは、本市が初めてとなります。

当日は、アメリカ・ロサンゼルスから、日系四世にあたる中学生24人と、その家族などを合わせた合計120人ほどが来日し、バスケットを通じて、親善友好を図ることにしています。

主催は、新発田市バスケットボール協会ですが、市も共催し、滞在中は、ホームステイなどを通じて、来日する中学生のルーツである日本の習慣に触れてもらうことにしています。

期間中は、交流試合のほか、月岡温泉や青少年宿泊施設 あかたにの家などを会場に、交流イベントを開催する予定にしており、ご取材をいただくことが可能です。

先日は、本市出身の富樫勇樹選手が、日本人初の1億円プレーヤーとなったということ、また、お隣の富山県出身の八村塁選手が、NBAのドラフトで9位指名を受けたという、バスケットボールに関する素晴らしいニュースがありました。

こうした日本人スター選手の活躍もあって、バスケットボール人気は、より一層の高まりを見せるのではないかと思います。

折しも、来年 2020 年には、東京オリンピック・パラリンピックも開催されます。参加する日米両国の中学生には、富樫・八村両選手のように、世界の大舞台で活躍できる選手になれるよう、今回の交流事業を通じて、様々な学びを得ていただきたいと思います。

#### 次に、「地域おこし協力隊 OG がカフェ『あかたにヒュッゲ』をオープン」について

地域おこし協力隊の 1 期生であり、今年 4 月に 3 年間の任期を終えて、協力隊員を退任した川邊直子さんが、担当地区であった赤谷地区を拠点として、起業することになりました。

川邊さんは、赤谷地区の豊かな自然の中で、思い思いの時間を過ごし、くつろいでもらうことをコンセプトに、「くつろぎカフェ・あかたにヒュッゲ」を 7 月 5 日（金）にオープンさせるそうです。

聞くとところによると、「ヒュッゲ」とは、デンマーク語で「幸福」「快適」「心地よさ」を意味する言葉だそうです。川邊さんの思いの詰まった、素敵なネーミングであると感じています。

同カフェでは、ティータイムを楽しめるほかに、赤谷産の材料を使ったアクセサリーや、自然素材を活用した小物などのワークショップを行うなど、交流の場としても活用していく予定であるとのことでした。

7 月 4 日（木）には、赤谷地区への感謝の気持ちを表すため、地域の方々をご招待する限定オープンを予定しているそうです。川邊さんの活動が、赤谷地区のさらなる地域おこしにつながることを期待しています。

#### 次に、「新潟県地域づくりサポートチームの支援対象に菅谷地区が決定」について

県が進める「新潟県地域づくりサポートチーム」の支援対象地域に、当市の菅谷地区が決定しました。

県内で支援対象となったのは、当市菅谷地区を含めた 12 地域であり、中山間地域等が抱える地域課題等に対し、意欲的に取り組む集落を対象に、3 年間にわたり、それぞれの地域の実情に沿ったオーダーメイド型による支援を行うというものです。

サポートチームには、県地域振興局や市町村担当課のほか、中間支援組織等の専門家などが参画します。

菅谷地区は、当市の進める「食の循環によるまちづくり」のモデル地区であり、平成 30 年度からすでに、同地区の意欲ある若者が中心となって組織する「ABODE すがたに・きたえちご」の皆さんが、地域活性化に向けた様々な取組を行っています。

この度、支援対象地域に決定したことを受けて、県から様々な支援を受けることができると期待していますし、これにより、同地区における取組が加速するものと思っています。

将来的には、菅谷地区の皆さんが目指している、地場産農産物の加工・販売などを通じて「地域が稼げる仕組み」を作り上げ、持続可能で活力ある地域となることを願っています。

このほかの情報としては、こちらの会場に展示をしておりますが、市内にある東中学校の美術部の生徒が、地元のコミュニティセンターの利用促進に寄与したいとの思いから、PR ポスターを制作した話題があります。

また、今年 7 月で 3 周年を迎えるイクネスしばたの「風鈴祭り」「七夕駅前マルシェ」などの情報のほか、夏恒例のイベント「サマーフェスティバル」の話題があります。

さらには、新潟県出身でお笑い芸人の「おばたのお兄さん」を迎え、県内最大級となる 100 人規模の婚活セミナーのほか、敬和学園大学の災害ボランティアセンターが主催する「くまタリアン・リターンズ IN しばた」など、たくさん話題があります。

一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。